

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。
年会費 10,000円、入会金 10,000円

黙って座ればピタリと当たる

JSPP 理事

久芳 陽一

(くば小児歯科、福岡県福岡市開業)



参院選後の投票直後に、この原稿を書いています。日歯連、日本看護連盟、日本薬剤師連盟の支援する3候補は当選しましたが、日医連推薦・支援の3候補は残念な事に落選されました。このような結果をピタリと当てた方はいらっしゃるでしょうか？。(どこかのタコは当てたかも知りませんが)

良く当たると評判の占い師は、「黙って座ればピタリと当たる」と客に感じさせるのが上手です。これは、相手に具体的な質問をする事なく、雑談や服装や外観・顔のみをみただけでこの人の個人情報を引き出すテクニックにたけているからです。このような名人に江戸時代の人相見に水野南北という人がいました。若い頃、極道をしていた南北にその道の達人が「あんたの顔には死相が出る」と言われ自分の死相を消そうとして、粗食に努め、人の吉凶は食生活が一番大事な事に気づきます。つまり飲食でその人の運命を変えてしまう事があると悟るのです。

小児歯科は、顎・顔面の発育、摂食、嚥下を育てる大事な時期を担当します。特に乳幼児期は口から食べる。噛んで飲み込む事を覚える大切な時期。良く噛んで食べる習慣をつけ、乳幼児期はゆっくりあせらずに歯の生え方、口の発達に合わせて離乳食や幼児食を進める事が大切です。我々も、もっと食に関する相談や提案にも積極的に関わって行きましょう。

最近、日米の大学が共同で唾液でがんを発見できる技術を共同開発しました。唾液に含まれる成分を調べ、それぞれのがんに特徴的な物質の濃度を測り膀胱がん、乳がん、口腔がんを見分けるそうです。X線や血液検査より簡便で、症状が出にくいがんの早期発見に役立ちそうです。

これらは、血液中にあるたんぱく質などほとんどすべ

ての物質が、唾液中にも分泌されているからだそうです。全身状態の変化が唾液成分にも影響を及ぼすためです。

その他、唾液の検査では、個人を特定するためにDNA鑑定に、エイズウイルス感染の疑いを判定するキットなどもあるそうです。

ただ今の所、完璧ではなく、病気でないのに陽性と出たり、精度の点で疑問も残ります。

唾液検査の精度の向上と、費用も安く検査の時間もかからないようにもっと研究が必要でしょう。唾液で病気を発見する方法は20年ほど前から進んでいて、アメリカの国立保健研究所は10億円以上の資金を投入しているそうです。

日本も事業仕訳でカットばかりしていると、益々遅れをとり、海外の企業に莫大な特許料を払わなければならなくなります。

歯科関係でも、唾液テストにはいろいろな種類があり、歯周病や口腔乾燥のリスク検査、唾液アンモニア濃度測定検査など多種多様なものが開発されてきています。

唾液によって病気がわかる事は、もはや眉つばでもなんでもありません。

小児歯科領域でも早く「黙ってなめれば、ピタリと当たる」時代がきてほしいものです。

なめると言えば、私の好物に日本酒があります。特に田酒と鍋島・東一に最近ハマっています。はからずもJSPPでは、小児歯科発展のため、地域の活性化をめざして、研究会の設立や研究会の更なる発展に力を注いでいます。田酒のある青森、鍋島・東一の佐賀には、地域支援の協力を始めたばかりなのですが、これがすごいんです。この地域のJSPP会員の方々が、ちょっとの後押しで、小児科の医師や行政の方々を巻き込んで、とんでもないスピードで素晴らしい成果を上げて行かれています。いずれ成果がはっきり表れてくれば、逆にこの過程や結果をフィードバックしてもらって、他の地域への活性化にもつながっていく事でしょう。

小児歯科に携わる先生方で、JSPP未加入の方には是非、会員になっていただき各地の支援にご協力お願い致します。